



第72期 報告書

平成23年4月1日 ▶ 平成24年3月31日





ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第72期の報告書をお届けいたします。

第72期は3ヶ年の経営計画「デジタル5ビジョン＜経営計画2011-2013＞」の初年度でした。この計画の中で、当社は将来「日本でトップグループのコンテンツ総合企業」になることを目指しております。コンテンツを核としたビジネスで日本有数の収益力を誇る企業に進化できるよう、この3ヶ年はそのための基盤を完成させる期間と位置付けました。

この経営計画には2つの大きな柱があります。1つは中核事業であるテレビ放送事業において「視聴率」「広告収入」の両面で業界内ポジションをさらに高めること、もう1つはテレビ放送事業以外のビジネスの層を厚くして「広告外収益」を拡大していくことです。この両輪こそがテレビ朝日のさらなる成長に向けた必須条件であり、この精神に基づき、経営計画では3ヶ年に注力する5つの戦略目標を設定しました。

「視聴率」「広告収入」「広告外収益」の戦略目標達成に向けて、第72期は大きく前進しました。

まず「視聴率」では、全日帯、ゴールデンタイムの年度視聴率において1位局との差が開局以来最小を記録しました。第73期に入ってから好調は続いており、本年4月には月間視聴率で開局以来初めて四冠（全日帯、ゴールデンタイム、プライムタイム、プライム2）を達成しました。

「広告収入」では、東日本大震災の影響を受けながらも、好調な視聴率を背景に増収を実現しました。特にスポット収入では、東京キー局の中で唯一シェアを大きく伸ばし、上位局との差を縮めることに成功しました。

また、「広告外収益」では、音楽ソフト市場の低迷が続く

中、当社の音楽出版事業が大幅な増収増益を達成しました。成長が期待されるインターネット関連事業では、動画配信サイト「テレ朝動画」の収入が2倍以上に増加しました。また、海外ビジネスやイベント事業など、将来に向けた様々なチャレンジにも着手しました。

第73期も引き続き、経営計画の達成と、株主価値のさらなる向上を目指して努力してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月



代表取締役社長

早河 洋

digital **5** ビジョン

< 経営計画 2011 - 2013 >

— 3ヶ年に注力する5つの戦略目標

— 定量目標 第74期(2014年3月期)

連結売上高

2,500 億円

連結営業利益

125 億円

(営業利益率 5.0%)



— 第72期（経営計画初年度）のトピックス

視聴率

- ▶ 全日帯(午前6時～翌日午前0時)、ゴールデンタイム(午後7時～午後10時)、1位との差が開局以来最小
- ▶ プライムタイム(午後7時～午後11時)、52週中24週が2位以上
- ▶ プライム2 (午後11時～翌日午前1時)は7年連続1位

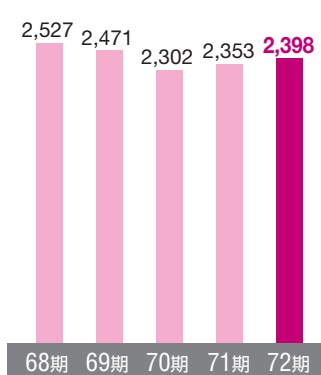
広告収入

- ▶ 東日本大震災の影響の中、増収を達成
- ▶ スポット収入、東京キー局内で当社のみが大幅なシェア上昇(21.5% (前期比+0.4ポイント))

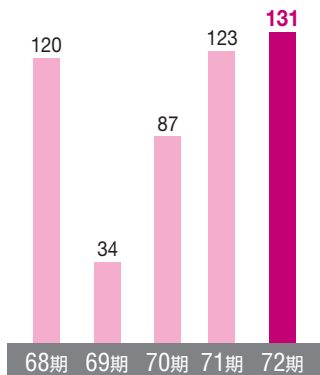
広告外収益

- ▶ 音楽出版事業が大幅な増収増益
- ▶ 動画配信サイト「テレ朝動画」の収入が前期比2倍以上に
- ▶ 大型音楽イベント「テレビ朝日ドリームフェスティバル 2011」を開催
- ▶ アジア市場を中心に海外展開を拡大

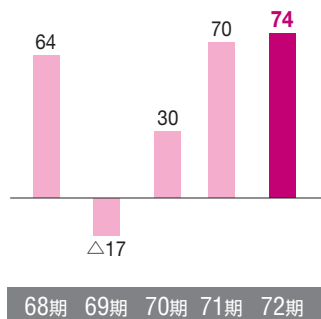
売上高 (単位: 億円)



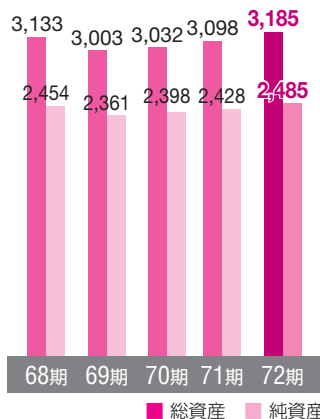
経常利益 (単位: 億円)



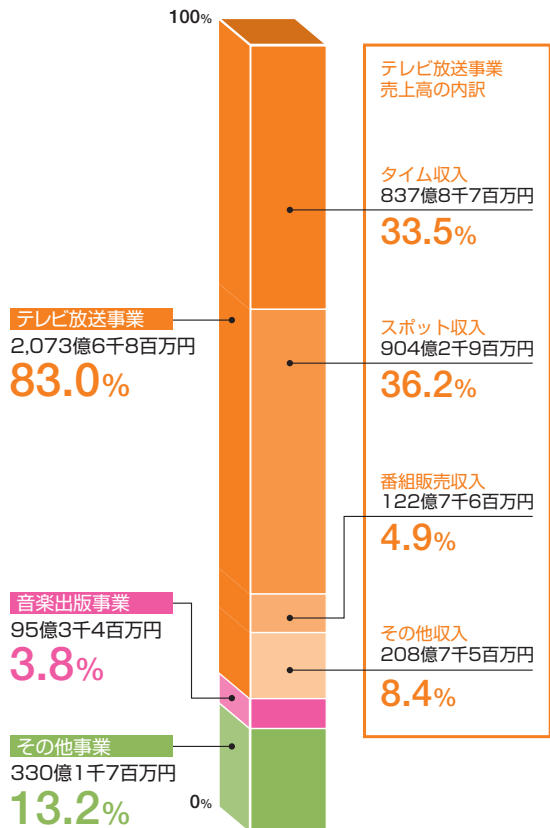
当期純利益 (単位: 億円)



総資産/純資産 (単位: 億円)



事業別売上高構成比



(注) 事業別売上高・構成比はセグメント間調整前のものです。

テレビ放送事業

売上高 207,368百万円
(前期比+1.5%)営業利益 7,111百万円
(前期比+21.4%)

83.0% (売上高構成比)

(単位：百万円)

	71期	72期	前期比	
売上高	204,284	207,368	3,084	+ 1.5%
● タイム収入	84,103	83,787	△ 316	△ 0.4%
● スポット収入	87,598	90,429	2,830	+ 3.2%
番組販売収入	11,977	12,276	299	+ 2.5%
その他収入	20,605	20,875	270	+ 1.3%
営業利益	5,858	7,111	1,252	+ 21.4%

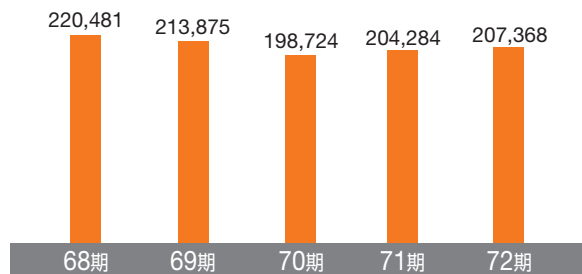
タイム収入

震災の影響によりアドバイザーの固定費削減傾向が強まったものの、市況の回復に合わせて安定的にCM枠を確保しようという動きが見られました。レギュラー番組のセールスでは、以前よりアドバイザーから高い関心を寄せられていた「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」のネットタイムセールスを開始したほか、「シルシルミシルさんデー」「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」など、視聴率が好調な番組の単価上昇を図った結果、前期に比べ増収となりました。一方、単発番組につきましては、「世界水泳上海2011」「サッカー・ロンドン五輪アジア地区最終予選」などのコンテンツを編成して収益の確保に努めたものの、前期の「2010FIFAワールドカップ南アフリカ」「AFCアジアカップ2011」の反動減などにより、減収となりました。以上の結果、タイム収入合計はわずかながら減収となりました。

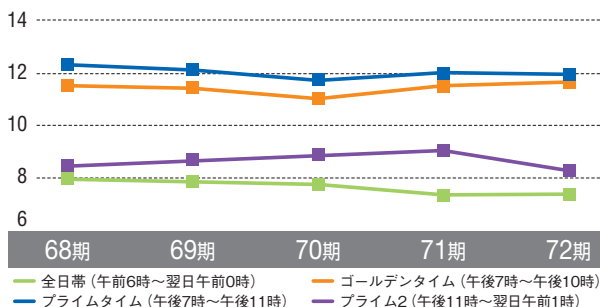
スポット収入

震災の影響により第1四半期は低迷したものの、その後は復興需要、底堅い個人消費への期待による内需の回復、スマートフォン・タブレット需要などを背景に好調に推移しました。そのような中、当社は、アドバイザーの需要を最大限取り込むことで、大幅な増収につなげることができました。業種別では、「サービス・娯楽」「卸売」「家庭用品」「化粧品・洗剤」が大幅な増収となるなど、16業種中12業種が前期を上回りました。

売上高 (単位：百万円)



テレビ朝日の時間帯別視聴率の推移 (%) ※ビデオサーチ調べ



視聴率

当期の視聴率は、全日帯(午前6時～翌日午前0時)7.4%、プライムタイム(午後7時～午後11時)12.0%、ゴールデンタイム(午後7時～午後10時)11.7%、プライム2(午後11時～翌日午前1時)8.3%となりました。全日、ゴールデンはトップとの差が過去最小、とりわけゴールデンは単独3位(NHKを含めた6局中)となり昭和44年以来2回目の快挙となりました。プライム2は7年連続の1位を維持しました。

当期は、期末期首、年末年始、スポーツ特番等の特別編成に加え、「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」「クイズプレゼンバラエティーQさま!!」「ロンドンハーツ」などのバラエティーが好調でした。また、「トリ

ハダ㊟スクープ映像100科ジテン」「関ジャニの仕分け∞」等、改編ごとにレギュラー編成のベースアップにも成功しました。

バラエティー系

「ミュージックステーション」「ビートたけしのTVタックル」「シルシルミシルさんデー」「ナニコレ珍百景」などのレギュラー番組が好評を博しました。月～木曜23時台のネオバラエティーも堅調で、引き続き若い世代の高い支持を得ています。



「もしものシミュレーションバラエティー お試しっ!」



「相棒season10」



「トリハダ㊟スクープ映像100科ジテン」



「マツコ&有吉の怒り新党」



「DOCTORS 最強の名医」

ドラマ

10シーズン目を迎えた「相棒」が引き続き高い支持を得て、平均視聴率16.6%を達成。「土曜ワイド劇場」も安定した高視聴率を獲得しました。また、木曜ドラマ「DOCTORS 最強の名医」、木曜ミステリー「科捜研の女」なども高い評価を得ました。ドラマスペシャルでは「火車」が17.0%を記録しました。

スポーツ

「サッカー・ロンドン五輪アジア地区最終予選」がプライムタイム平均16.6%と高視聴率を獲得しました。フィギュ

アスケートは、「グランプリファイナル 男女フリー」が17.7%を記録するなど、高い注目を浴びました。

報道情報番組

「スーパーJチャンネル」が年度の平均視聴率7.5%を獲得し、同時間帯民放ニュース番組で、開局以来初となる年度トップを獲得しました。「報道ステーション」も引き続き安定しているほか、「モーニングバード!」「ワイド! スクランブル」などのベルト番組も視聴者からの厚い信頼を得ています。



「火車」



「ISU フィギュアスケートグランプリファイナル2011」



「サッカー・ロンドン五輪アジア地区最終予選」



「モーニングバード!」



音楽出版事業

売上高 9,534百万円
(前期比+33.6%)

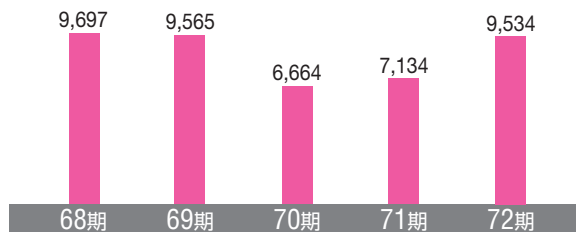
営業利益 1,660百万円
(前期比+54.6%)

3.8% (売上高構成比)

(単位：百万円)

	71期	72期	前期比	
売上高	7,134	9,534	2,399	+33.6%
営業利益	1,074	1,660	586	+54.6%

売上高 (単位：百万円)



音楽著作権・著作隣接権の管理事業は、“ケツメイシ”のベストアルバム「ケツの嵐」の4枚同時リリースなどにより堅調に推移しました。

また、音楽コンテンツ事業は、“ケツメイシ”“湘南乃風”およびアルバム「ソナポケイズム③」をリリースした“ソナーポケット”が全国各地でのコンサートツアーを展開したことなどにより、増収となりました。

以上の結果、音楽出版事業の売上高は大幅な増収となりました。



ソナーポケット
「ソナポケイズム③」



ケツメイシ
「ケツの嵐」

その他事業

売上高 33,017百万円
(前期比△0.0%)

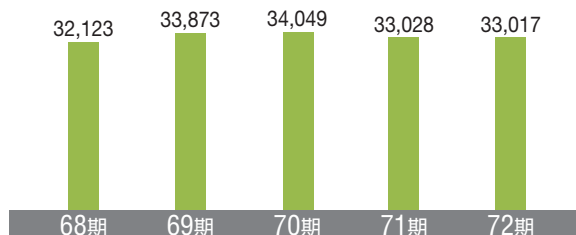
営業利益 1,801百万円
(前期比△39.2%)

13.2% (売上高構成比)

(単位：百万円)

	71期	72期	前期比	
売上高	33,028	33,017	△ 10	△ 0.0%
営業利益	2,963	1,801	△ 1,161	△ 39.2%

売上高 (単位：百万円)



出資映画事業

テレビ番組連動の春・夏・正月の「仮面ライダー」・「戦隊」シリーズ、「ドラえもん」「クレヨンしんちゃん」などの恒例作品が安定した興行成績となったほか、「岳」「探偵はBARにいる」「ツレがうつになりまして。」「friends ものけ島のナキ」などの邦画作品や、「ライフ」「三銃士」などの洋画作品が好評を博しました。

イベント事業

「フェルメールからのラブレター展」「徹子の部屋コンサート」「オンタマカーニバル2012」「相棒展Premium2」「サウンドホライズンカフェ」「大つけ麺博」をはじめ数々のイベントを開催しました。9月に日本武道館で3日間開催した「テレビ朝日ドリームフェスティバル2011」は、豪華なアーティストの出演が話題になりチケット注文が殺到するなど、大成功を収めました。

ショッピング事業

当期から連結子会社の株式会社ロッピングライフにショッピング事業を一元化し、将来の収益拡大に向けた体制を整えました。上半期は震災などの影響により販売が不振でしたが、下半期は新規商材を積極的に投入し、ヒット商品も生まれたことで、販売は回復基調となりました。



「映画ドラえもん のび太と奇跡の島」
©藤子プロ・小学館・テレビ朝日・シンエイ・ADK 2012

DVD化事業

「アメトーーク」がシリーズでの累計出荷数が180万枚を突破したほか、「相棒season9」「バーテンダー」「犬を飼うということ」「さまぁ～ず×さまぁ～ず」などをリリースしました。

インターネット事業

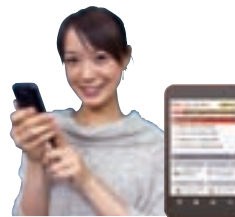
「テレ朝動画」で、ドラマ、バラエティーの地上波番組や、ももいろクローバーZを起用したオリジナルコンテンツを配信しました。さらに「アメーバピグ」に「テレビ朝日ランド」を展開し、「ドラえもん」「いきなり！黄金伝説。」「ワールドプロレスリング」などの番組関連コンテンツを配信しました。携帯電話向け総合情報配信サービス「ニュースEX」に加え、新たにKDDI 株式会社と共同で開発・提供するニュースアプリ「auヘッドライン」もスタートさせました。

CS 事業

CS放送「テレ朝チャンネル」は自主制作番組や話題作などを中心に編成し、加入者数が430万世帯を超え着実に増加しています。さらに、株式会社衛星チャンネルと「朝日ニュースター」の事業譲渡契約を締結し、2チャンネル運営の基盤を作りました。

出版事業

「ナニコレ珍百景」で取り上げた書籍「はげましてはげまされて」「お願い！ランキング」の1コーナーを書籍化した「やってはいけない風水」などが好調に販売部数を伸ばしています。



「ニュースEX」



DVD「アメトーーク」





テレビ朝しの 現場 VOL. 15

新マスコット キャラクター誕生！

2011年5月、テレビ朝日に新しいマスコットキャラクターが生まれました。名前は「ゴーエクスパンダ」（ニックネームはゴーちゃん。）。エクスパンダ星からやってきたパンダ王子です。

このキャラクターは、「ハローキティ」などを開発・育成してきた株式会社サンリオと共同で開発しました。サンリオのキャラクター育成ノウハウや当社のメディア発信力など、それぞれの強みを活かし、共同でキャラクタービジネスを推進していきます。

メディア環境が大きく変化していく中で、私たちは視聴者の皆様とのコミュニケーションを、より一層深めることが重要だと考えております。当社のコンテンツに引き続き親しみを持っていただくため、新生テレビ朝日デジタル5チャンネルの“象徴”として活用していきます。

当社では、昨年3月に、「マスコットキャラクター推進プロジェクトチーム」を設置しました。コンテンツビジネス局を中核として、社内各部署からメンバーが集まり、ゴーちゃん。の育成に取り組んでおります。

ゴーちゃん。は報道・情報番組のお天気コーナーやスポーツ中継で活躍中です。



バースデーイベント
2012年5月開催

また、今年5月に開催したキャラクター説明会には、広告会社や各種メーカー31社の方にご参加いただきました。

今後も活躍の場を広げ愛されるキャラクターとなることで、当社のブランド価値の向上を目指すと共に、着実にキャラクタービジネスの拡大も図っていきたいと考えております。

これからのゴーちゃん。の活躍にぜひご期待ください。

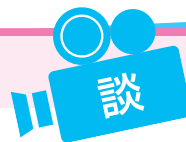
ゴーちゃん。WEBサイト

➔<http://www.tv-asahi.co.jp/go-chan/>



海野友理香

コンテンツビジネス局コンテンツビジネス業務部



ゴーちゃん。が地球に来て1年。皆さんに長く愛されるキャラクターにするべく、プロジェクトチームの一員として様々な活動をしてきました。

その一つが、ゴーちゃん。のライブキャラクターをできる限り多くのイベントや番組に登場させることです。通常「着ぐるみ」と呼ばれる遊園地などで見られる等身大のぬいぐるみのことを、私たちはライブキャラクターと呼んでいます。それが、命を吹き込まれたゴーちゃん。そのものだからです。ライブキャラクターは、手を振ったり、握手をしたり、ハグをしたり、出会った人と直接触れ合うことで、ファンを増やしていける強い力を持っています。

私がその力を実感したのは、東日本震災の被災地である岩手県大船渡市の小学生の皆さんが、テレビ朝日に見学に来てくださった時でした。ゴーちゃん。と子供たちが触れ合った途端、会場がとても明るく元気な雰囲気になりました。そして、初めは戸惑った様子だった子供がぎゅっと力いっぱいゴーちゃん。の背中に抱きつき、笑顔を見せてくれたのです。まさにゴーちゃん。の温かさや可愛らしさが伝わった瞬間に立会うことができ、地道ながらも出会った方一人一人とのふれあいを大切にきてきて本当によかったと思いました。

誕生1周年を記念して本社アトリウムで開催したバースデーイベントにも、2日間で36,000人もの方に来ていただきました。

今後も番組やイベント、インターネットなど、ゴーちゃん。の活躍の場をブイブイ広げ、ゴーちゃん。ファン、ひいてはテレビ朝日のファンを増やしていきたいと思います！皆さん、地球に來たばかりのゴーちゃん。を温かく応援してください。よろしくお願いいたします。

経営成績

当期の日本経済は、東日本大震災の影響により厳しい状況にありましたが、夏以降は企業の生産活動において回復に向けた動きが広がるなど、緩やかな持ち直しの動きがみられました。

広告業界におきましては、震災の影響による落ち込みから持ち直し、東京地区のスポット広告の出稿量は前期を上回るまで回復いたしました。

このような経済状況のなか、当社グループは、テレビ放送事業はもとより、音楽出版事業やその他事業での収益確保に努め、当期の売上高は2,398億4千5百万円(前期比+1.9%)、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が2,293億8千3百万円(同+1.7%)となりました結果、営業利益は104億6千2百万円(同+6.2%)となりました。

また経常利益は131億2千4百万円(同+6.1%)、当期純利益は74億9千6百万円(同+6.9%)となりました。

財政状態

当期末の資産合計は前期末比86億4千7百万円増の3,185億1千9百万円、自己資本比率は76.5%となりました。

キャッシュ・フローの状況

当期末における現金及び現金同等物は、前期末比77億2千万円減少し、484億8千2百万円となりました。

●営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、111億4千8百万円の収入となり、前期に比べ111億9千3百万円減少いたしました。減少の主な要因は、法人税等の支払額が40億6千2百万円増加したことや、たな卸資産の増減額が30億3千8百万円減少したことなどであります。

●投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、156億5千7百万円の支出となり、前期に比べ支出額が55億5千5百万円減少いたしました。減少の主な要因は、投資有価証券の償還による収入が40億6千2百万円減少した一方で、有価証券の取得による支出が100億円減少したことなどであります。

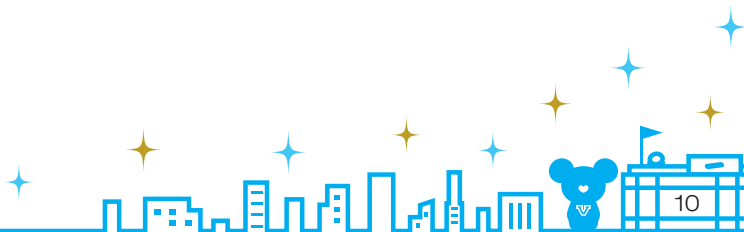
●財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、31億9千7百万円の支出となり、前期に比べ支出額が9億4千8百万円増加いたしました。

次期の見通し

次期につきましては、当社グループの売上高に大きな影響をおよぼすテレビ広告市場は、回復基調が続くものと想定され、タイム、スポット収入については、増収を見込んでおります。また、その他事業におきましても収益拡大に継続的に注力することにより、売上高は増収を見込んでおります。

一方、音楽出版事業について減収を見込んでいることや、営業費用についても、番組制作費やその他事業費などの増加が見込まれることから、営業利益、経常利益は減益となる見込みであります。



連結貸借対照表

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	平成24年3月31日現在	平成23年3月31日現在
(資産の部)		
流動資産	138,323	144,944
固定資産	180,195	164,927
有形固定資産	83,549	71,796
無形固定資産	6,452	6,947
投資その他の資産	90,193	86,184
資産合計	318,519	309,871
(負債の部)		
流動負債	54,973	51,584
固定負債	15,014	15,423
負債合計	69,987	67,008
(純資産の部)		
株主資本	243,879	239,401
資本金	36,642	36,642
資本剰余金	55,342	55,342
利益剰余金	152,215	147,737
自己株式	△ 321	△ 321
その他の包括利益累計額	△ 59	△ 1,144
その他有価証券評価差額金	102	△ 995
繰延ヘッジ損益	24	22
為替換算調整勘定	△ 186	△ 170
少数株主持分	4,710	4,605
純資産合計	248,531	242,863
負債純資産合計	318,519	309,871

連結株主資本等変動計算書

当期 自 平成23年4月 1 日 至 平成24年3月31日	株主資本					その他の包括利益累計額				少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本 剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価 証券評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	その他の包括 利益累計額合計		
平成23年4月1日残高	36,642	55,342	147,737	△ 321	239,401	△ 995	22	△ 170	△ 1,144	4,605	242,863
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 3,018		△ 3,018						△ 3,018
当期純利益			7,496		7,496						7,496
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額（純額）						1,097	2	△ 15	1,084	104	1,189
連結会計年度中の変動額合計	—	—	4,478	—	4,478	1,097	2	△ 15	1,084	104	5,667
平成24年3月31日残高	36,642	55,342	152,215	△ 321	243,879	102	24	△ 186	△ 59	4,710	248,531

連結損益計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
売上高	239,845	235,398
売上原価	172,812	170,291
売上総利益	67,033	65,106
販売費及び一般管理費	56,571	55,254
営業利益	10,462	9,851
営業外収益	3,091	2,914
営業外費用	428	394
経常利益	13,124	12,371
特別利益	182	—
特別損失	88	559
税金等調整前当期純利益	13,219	11,811
法人税、住民税及び事業税	4,350	4,498
法人税等調整額	1,242	164
法人税等合計	5,592	4,662
少数株主損益調整前当期純利益	7,626	7,148
少数株主利益	130	135
当期純利益	7,496	7,013

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円、百万円未満切捨)

科 目	当 期	前 期
	自平成23年4月 1日 至平成24年3月31日	自平成22年4月 1日 至平成23年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	11,148	22,341
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 15,657	△ 21,212
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 3,197	△ 2,249
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 13	△ 34
現金及び現金同等物の増減額（△減少）	△ 7,720	△ 1,155
現金及び現金同等物の期首残高	56,202	57,357
現金及び現金同等物の期末残高	48,482	56,202

(単位：百万円、百万円未満切捨)

会社の概要 (平成24年3月31日現在)

商 号 株式会社 テレビ朝日 (TV Asahi Corporation)
設 立 昭和32年11月1日
放 送 開 始 昭和34年2月1日
資 本 金 366億4,280万円
本 店 所 在 地 〒106-8001 東京都港区六本木六丁目9番1号
従 業 員 数 1,193名
当社の事業所等 本社 (東京都) アーク放送センター (東京都)
送信所・中継局 (東京都ほか)
: BS (コロンブス) (東京都)

役員 (平成24年6月28日現在)

代表取締役社長	早河 洋	取 締 役	川口 忠久
専 務 取 締 役	福田 俊男	取 締 役	土屋 英樹
専 務 取 締 役	北澤 晴樹	取 締 役	荒木 高伸
常 務 取 締 役	藤ノ木正哉	取 締 役	岡田 剛
常 務 取 締 役	粕谷 卓志	取 締 役	北島 義俊
取 締 役	亀山 慶二	取 締 役	木村 伊量
取 締 役	角南 源五	取 締 役	武内 健二
取 締 役	平城 隆司	取 締 役	渡辺 克信

常 勤 監 査 役	浅野 正夫	監 査 役	奥村萬壽雄
常 勤 監 査 役	数内 宜尚	監 査 役	深山 雅也
監 査 役	荻谷 忠男		

(注) 1. 取締役荒木高伸、岡田 剛、北島義俊、木村伊量、武内健二
および渡辺克信の各氏は、社外取締役であります。
2. 監査役荻谷忠男、奥村萬壽雄および深山雅也の各氏は、社外監
査役であります。

関係会社の概要 (平成24年3月31日現在)

■テレビ放送事業
●番組制作関連業務
連結子会社
(株)エル・エス・ディー
(株)テイクシステムズ
テレビ朝日映像 (株)
(株)テレビ朝日クリエイト
(株)トラストネットワーク
(株)日本ケーブルテレビジョン
(株)ビデオ・バック・ニッポン
(株)フレックス
(株)放送技術社
TV Asahi America, Inc.
持分法適用関連会社
(株)文化工房
(株)メディアミックス・ジャパン
関連会社
(株)東北朝日プロダクション
(株)琉球トラスト
(株)エイジプロジェクト
その他の関係会社
東映 (株)
●BS・CSデジタル放送
持分法適用関連会社
(株)ビーエス朝日
(株)シーエス・ワンテン
●WEB、デジタルデータコンテンツ制作・運用
連結子会社
(株)テレビ朝日メディアブックス
●音楽出版事業
連結子会社
(株)テレビ朝日ミュージック
持分法適用関連会社
(株)ビーエス朝日サ운ズ
●その他事業
●ショッピング業務
連結子会社
(株)ロッキングライフ
●放送周辺業務
連結子会社
(株)テレビ朝日サービス
●アナウンサー学校
連結子会社
(株)テレビ朝日アスク
●施設管理業務
連結子会社
(株)テレビ朝日ベスト
●ブロードバンド向け配信業務
連結子会社
プロスタTV合同会社
●アニメーション制作・販売
連結子会社
シンエイ動画 (株)
持分法適用関連会社
東映アニメーション (株)
●日刊新聞発行等
その他の関係会社
(株)朝日新聞社

(注) (株)シーエス・ワンテンは、平成24年4月1日付で、連結子会社に変更しております。

国内ネットワーク局 (平成24年3月31日現在)

ANN加盟局
北海道テレビ放送 (HTB)
青森朝日放送 (ABA)
岩手朝日テレビ (IAT)
東日本放送 (KHB)
秋田朝日放送 (AAB)
山形テレビ (YTS)
福島放送 (KFB)
テレビ朝日 (EX)
新潟テレビ21 (UX)
長野朝日放送 (abn)
静岡朝日テレビ (SATV)
北陸朝日放送 (HAB)
福井放送 (FBC)
名古屋テレビ放送 (メーテレ)
朝日放送 (ABC)
広島ホームテレビ (HOME)
山口朝日放送 (yab)
瀬戸内海放送 (KSB)
愛媛朝日テレビ (eat)
九州朝日放送 (KBC)
長崎文化放送 (NCC)
熊本朝日放送 (KAB)
大分朝日放送 (OAB)
テレビ宮崎 (UMK)
鹿児島放送 (KKB)
琉球朝日放送 (QAB)

株主状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 発行済株式の総数 株主数
3,000,000株 1,006,000株 31,443名

大株主（上位10名）

株主名	持株数（株）	持株比率（%）
株式会社朝日新聞社	248,649	24.72
東映株式会社	161,842	16.09
公益財団法人香雪美術館	50,300	5.00
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 大日本印刷口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	40,300	4.01
九州朝日放送株式会社	32,147	3.20
株式会社リクルート	21,000	2.09
公益財団法人朝日新聞文化財団	20,120	2.00
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	19,369	1.93
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	19,276	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	18,358	1.82

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	☎0120-176-417
(ホームページURL)	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html
公告の方法	当社のホームページに掲載いたします。 http://company.tv-asahi.co.jp/ ただし、ホームページに掲載できない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、東京都において発行する朝日新聞に掲載いたします。
上場取引所	東京証券取引所
外国人等の株主名簿 への記載または記録 の制限	当社の定款には次の規定があります。 定款第10条 本会社は、次の各号のいずれかに掲げる者から、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することの請求を受けた場合において、その請求に応ずることにより、次の各号に掲げる者の有する議決権の総数が、総株主の議決権の5分の1以上を占めることになるときは、その氏名および住所等を株主名簿に記載または記録することを拒むものとする。 1. 日本の国籍を有しない人 2. 外国政府またはその代表者 3. 外国の法人または団体 4. 上記1.ないし3.の各号に掲げる者により直接に占められる議決権の割合が総務省令で定める割合以上である法人または団体 ②本会社は、法令の定めに従い、前項各号に掲げる者が有する株式について、株主名簿への記載もしくは記録の制限または議決権の制限を行うことができるものとする。

(注)平成24年10月1日付をもって、1株を100株に分割するとともに、1単元の株式の数を100株とする単元株制度を採用する予定です。

株主様向け「テレビショッピング販売商品」特別優待価格でのご提供のご案内

テレビ朝日グループで通販事業を担当する(株)ロッピングライフの商品の中から、株主様を対象に、厳選いたしました商品を特別優待価格でご提供しております。

同封のパンフレットに記載の専用ホームページもご覧いただき、ご希望の商品がございましたら、パンフレットまたは専用ホームページ記載の「ご注文専用フリーコール」にお電話ください。

※ホームページでは、パンフレット掲載商品の内容をさらに詳しく紹介しております。
ホームページの商品説明を印刷して、お手許にお送りすることもできますので、右記お問合せ専用フリーダイヤルにお気軽にお電話ください。

●お問合せ先

株式会社テレビ朝日 株主様ご優待

お問合せ専用
フリーダイヤル0120-532-510 10時～18時
日曜・祝日は除く

株主様向け「題名のない音楽会」「本社ビル」見学のご案内

当社では、株主様を対象に、

①「題名のない音楽会」の収録見学

② 本社ビル施設の観学会

を開催いたします。ご希望される株主様は、実施要領をご一読のうえ、下記の所定の手続きをおとりください。

なお、施設規模・日程に限りがあり、ご希望される株主様からの多数の応募が予想されるため、**原則として、抽選とさせていただきます。**

対象となる株主様

平成24年3月31日（土）の株主名簿に記録された株主様

お申し込み方法

(1) 「題名のない音楽会」の収録見学・本社ビル施設の観学会のうち、ご希望のお申し込み用紙を切り取り、必要事項をご記入のうえ、同封の返信用封筒にてご返送ください。

(2) 前述のとおり、**原則として、抽選とさせていただきます**うえ、当選された方に、見学当日の受付方法等を記載しました書面を送付いたします。**(当該書面の送付をもって、抽選結果の発表にかえさせていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。)**

●お問合せ先

株式会社テレビ朝日 株主様ご優待

お問合せ専用
フリーダイヤル

0120-532-510

10時～18時
日曜・祝日
12/31～1/3は除く

実施要領

①「題名のない音楽会」の収録見学

●開催日：平成24年8月14日（火）

●場 所：河口湖ステラシアター

（山梨県南都留郡富士河口湖町船津5577）

●時 間：集合13：00 終了17：00予定

（収録2本分をご見学いただきます。集合・終了時間は収録の都合により若干前後することがございます。）

●お申し込みメ切り：平成24年7月6日（金）

（当日消印有効）

※見学対象・施設等の関係で誠に恐縮ですが、ご見学は、株主様1名につき、ご本人様と同伴者（小学校1年生以上）1名様（計2名様）のみに限らせていただきます。あらかじめご了承ください。

②本社ビル施設の観学会

開催月	日程	開始時間	お申し込みメ切り (当日消印有効)
平成24年 8月	1日（水）	13:30～	7月11日（水）
	2日（木）	13:30～	
	29日（水）	13:30～	8月 7日（火）
9月	26日（水）	13:30～	9月 4日（火）
	27日（木）	13:30～	
10月	17日（水）	13:30～	9月25日（火）
	18日（木）	13:30～	
11月	28日（水）	13:30～	11月 6日（火）
	29日（木）	13:30～	
12月	12日（水）	13:30～	11月20日（火）
	13日（木）	13:30～	
平成25年 1月	23日（水）	13:30～	12月25日（火） (平成24年)
2月	20日（水）	13:30～	1月29日（火） (平成25年)

※見学は、スタジオおよびニューススタジオセットや若干の関連施設が対象となり、見学時間は1時間程度です。（移動時間等を含め、全体の所要時間は1時間半程度となります。なお、番組収録の見学はございません。）

※見学対象・施設等の関係で誠に恐縮ですが、ご見学は、株主様1名につき、ご本人様と同伴者（小学校5年生以上）1名様（計2名様）のみに限らせていただきます。あらかじめご了承ください。



「題名のない音楽会」の収録見学 お申し込み用紙

フリガナ お名前	性別 ①男 ②女
ご住所 ※1 □□□-□□□□	都 道 府 県
ご連絡先（電話番号）	
ご年齢 ①～19歳 ②20歳～ ③30歳～ ④40歳～ ⑤50歳～ ⑥60歳～ ⑦70歳～	
ご職業 ①会社員 ②会社役員 ③公務員 ④専門職（医師・弁護士など） ⑤自営業（個人事業主） ⑥主婦 ⑦無職 ⑧その他（ ）	

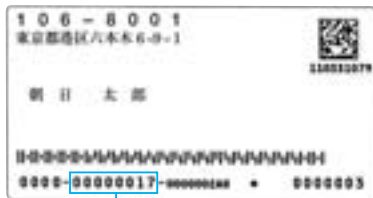
見学申し込みをされる株主様は、
必ず以下の欄に必要事項をご記入ください。

株主 番号 ※2									
同伴者氏名（小学校1年生以上の方に限ります）									

● 最近のテレビ朝日をどのようにお感じになれますか。（自由記入）

ご記入に際しての注意事項

- ※1 転居や住居表示の変更で、住所が変更となった場合は、新しい住所をご記入ください。
- ※2 株主番号を必ずご記入ください。株主番号は送付状の宛名の下部に印字されています。下図をご参照のうえ、ご記入ください。



こちらの8桁の数字が株主番号になります。

いただいた個人情報は、株主様向け見学の抽選・ご連絡・ご案内のためにのみ利用させていただきます。また、アンケートのお答えは、個人情報と切り離した形で利用させていただきます。

本社ビル施設の見学会 お申し込み用紙

フリガナ お名前	性別 ①男 ②女
ご住所 ※1 □□□-□□□□	都 道 府 県
ご連絡先（電話番号）	
ご年齢 ①～19歳 ②20歳～ ③30歳～ ④40歳～ ⑤50歳～ ⑥60歳～ ⑦70歳～	
ご職業 ①会社員 ②会社役員 ③公務員 ④専門職（医師・弁護士など） ⑤自営業（個人事業主） ⑥主婦 ⑦無職 ⑧その他（ ）	
見学会のお申し込み ①今回が初めて ②2回目 ③3回目 ④4回目 ⑤5回目以上	

見学申し込みをされる株主様は、
必ず以下の欄に必要事項をご記入ください。

株主 番号 ※2									
同伴者氏名（小学校5年生以上の方に限ります）									
希望見学日（1つだけ○で囲んでください） ① 8月 1日 ② 8月 2日 ③ 8月29日 ④ 9月26日 ⑤ 9月27日 ⑥10月17日 ⑦10月18日 ⑧11月28日 ⑨11月29日 ⑩12月12日 ⑪12月13日 ⑫ 1月23日 ⑬ 2月20日									

● 最近のテレビ朝日をどのようにお感じになれますか。（自由記入）

株式会社 テレビ朝日

〒106-8001 東京都港区六本木6-9-1
電話 (03) 6406-1111 URL <http://www.tv-asahi.co.jp/>



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。